こうしゅう 市議会広報

73号
2024.1.31 発行
山梨県甲州市議会

この度の能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復興をお祈り申し上げます。
甲州市議会議員一同

１２月定例会レポート……Ｐ２～
議会広報７２号アンケートの結果……Ｐ３
一般質問　８人の議員が市政を問う！……Ｐ５～
常任委員会レポート……Ｐ１４～
予算審査特別委員会レポート……Ｐ１６～

幻想的な光景　勝沼ぶどうの丘が夢の中のように輝く

マチイロ
マチを好きになるアプリ
※広報紙をスマートフォンやタブレットで

12月定例会レポート
議案の審議結果

令和5年甲州市議会12月定例会は、11月28日から12月20日までの23日間の会期で開かれ、令和5年度一般会計補正予算案、条例案など28件の事件について慎重審議を行いました。
主な議決内容を要約してお伝えします。

犯罪被害者等へ支援

犯罪被害者を社会全体で支え
安全で住みよい地域社会へ

◆生活安全条例の一部改正は、犯罪被害者等に対して支援を実施していくための改正であり、可決されました。犯罪被害等へ支援の一部として経済的負担の軽減を目的とする支援金が支給されることとなりました。

◆国民健康保険税条例の一部改正は、地方税法の一部改正により出産した国民健康保険被保険者の国民健康保険税の減免措置が実施されることに伴う改正であり、可決されました。これにより出産予定日の属する月の前月から予定日の翌々月までの国民健康保険税が減額されることとなりました。

◆市税条例等の一部改正は、令和6年4月1日から督促手数料を廃止するための改正であり、可決されました。

◆市長等の給与及び旅費条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正は、人事院勧告及び県人事委員会勧告による県および市職員の給与改定に鑑み、市長等の期末手当の支給月数を改定するため制定するものです。本会議では「可決すべきもの」とした総務文教常任委員長の報告に対して反対討論が行われましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

■委員長報告に反対討論

佐藤浩美議員　物価高で市民が苦しんでいる中、市長等の期末手当を上げることは反対である。

◆市議会委員会条例の一部改正は、令和6年3月定例会から予算決算常任委員会を設置し、予算及び決算を審査するための議員発議による改正です。

◆令和5年度一般会計補正予算（第6号）は、10億8548万2000円を追加し、総額を222億8662万円としました。歳出内容は、**総務費**にふるさと支援基金積立金等として10億8548万2000円を追加し、主な歳入内容は、**寄附金**にふるさと納税寄附金として10億円を追加するもので、可決されました。

◆令和5年度一般会計補正予算（第7号）は、12億2432万3000円を追加し、総額を234億3298万3000円としました。主な歳出内容は、**総務費**に情報化推進費等として22億6263000円、**民生費**に障害者自立支援給付費等として9725万5000円、**教育費**に小学校施設管理費等として902万円、**公債費**に長期債元金償還金等として10億3898万7000円を追加するものです。主な歳入内容は、**国庫支出金**に5160万4000円、**県支出金**に2120万9000円、**繰越金**に8130万2000円、**市債**に10億7009万円を追加するもので、可決されました。

◆令和5年度一般会計補正予算（第8号）は、2億2186万8000円を追加し、総額を236億5485万1000円としました。歳出内容は、**民生費**に電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費等として2億1286万8000円、**土木費**に急傾斜地崩壊対策事業負担金として900万円を追加するものです。主な歳入内容は、**国庫支出金**に1億7356万4000円、**県支出金**に2107万8000円、**市債**に900万円を追加するもので、可決されました。

軽自動車税
減免対象範囲拡大

減免の対象となる範囲が拡大された軽自動車税
減免には手続きが必要となる

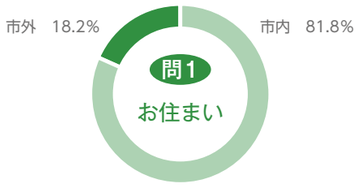
◆市税条例の一部改正は、精神障害者又は知的障害者が運転する軽自動車に係る軽自動車税を減免するための改正であり、可決されました。

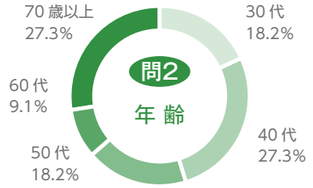
◆行政組織条例の一部改正は、児童福祉法に規定されるこども家庭センターを設置することに伴う関係課の再編を行うための改正であり、可決されました。これにより、現行の「子育て・福祉推進課」及び「福祉総合支援課」は、令和6年度から子ども分野を所管する「子育て支援課」と福祉分野を所管する「福祉総合支援課」に再編されます。

「こうしゅう市議会広報72号」アンケート集計結果

皆様からいただいたご意見を、議会広報や議会活動に生かしてまいります。
ご協力ありがとうございました。

アンケート結果





問3
良いと思った見出しをあげてください

勝沼ぶどうの丘施設管理者不在の改善を (P5) ／令和4年度一般会計決算討論・採決により賛成多数で認定 (P6) ／ニ地域居住を目的とした区域外就学への対応は (P9) ／総合型地域スポーツクラブを創設する考えは (P10) ／補聴器購入の際の助成事業の内容は (P12) ／市内教育環境差のないように (P17) ／常任委員会の見出し (P18,19) ／管理不全空き家制度導入 (P19) ／農家へ5万円の給付金 (P20)

問4
読みやすかった記事をあげてください

決算審査特別委員会 (P2～5) ／大見出しの内容と同じ内容から本文が始まっているので、読みやすい (P4,9,12) ／勝沼ぶどうの丘事業の記事 (P5) ／総合型地域スポーツクラブを創設する考えは (P10) ／補聴器購入の際の助成事業の内容について (P12) ／市長の掲げた公約についての答え (P14) ／災害の市民への周知の方法に関する記事 (P16) ／のんちゃん絵日記 (裏表紙) ／読み難い

問5
良いと思った写真をあげてください

表紙（鳥居焼とのコラボが最高「勝豪快」のハッピが良い。動きも素晴らしい）／わだつみ平和文庫の展示の様子の写真 (P12) ／医療用ウィッグの写真 (P13) ／リニューアルされた塩山駅前の観光案内所の写真 (P16) ／消防団の訓練の様子の写真 (P17) ／塩山中の写真 (P18) ／大藤診療所 (P21) アングルが良い。／子ども議会開催の写真は様子がわかるので非常に良いと思いました。(P23)

アンケート結果を要約して掲載しています。

令和5年12月定例会議案等議決結果一覧表

（賛成＝○　反対＝●　棄権＝△　欠席＝欠）

		議案番号	案件名＼議員名	議会広報掲載ページ	荻原哲也	有賀公子	佐藤浩美	小野公秀	矢崎友規	相沢俊行	平塚悟	小林真理子	飯島孝也	髙野浩一	青柳好文	高畑一幸	廣瀬明弘	岡部紀久雄	日向正	中村勝彦	丸山国一	結果
12月定例会	条例案	議案第70号	甲州市税条例等の一部を改正する条例制定について	P. 2 P.14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	可決
		議案第71号	甲州市長等の給与及び旅費条例及び甲州市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	P. 2	△	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
		議案第72号	甲州市職員給与条例及び甲州市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	P.14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
		議案第73号	甲州市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について																			
		議案第74号	甲州市税条例の一部を改正する条例制定について	P. 3 P.14																		
		議案第76号	甲州市ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について	P.15																		
		議案第77号	甲州市生活安全条例の一部を改正する条例制定について	P. 2 P.14																		
		議案第78号	甲州市行政組織条例の一部を改正する条例制定について	P. 3 P.14																		
		議案第94号	甲州市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	P. 2 P.14																		
	補正予算案	議案第79号	令和5年度甲州市一般会計補正予算（第6号）　※初日議決	P. 2 P.16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
		議案第82号	令和5年度甲州市診療所事業特別会計補正予算（第2号）	P.17																		
		議案第83号	令和5年度甲州市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）																			
		議案第84号	令和5年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	P.17																		
		議案第85号	令和5年度甲州市水道事業会計補正予算（第2号）																			
		議案第86号	令和5年度甲州市下水道事業会計補正予算（第2号）	P.17																		
		議案第87号	令和5年度甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計補正予算（第2号）	P.17																		
		議案第92号	令和5年度甲州市一般会計補正予算（第7号）	P. 2 P.16																		
		議案第93号	令和5年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）																			
		議案第95号	令和5年度甲州市一般会計補正予算（第8号）	P. 2 P.16																		
		議案第96号	令和5年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	P.17																		
	その他の案件	議案第88号	甲州市勝沼健康福祉センターの指定管理者の指定について	P.15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
		議案第89号	甲州市大和デイサービスセンターの指定管理者の指定について	P.15																		
		議案第90号	甲州市日川渓谷緑の村及び甲州市やまと天目山温泉資源活用施設の指定管理者の指定について	P.15																		
		議案第91号	道の駅甲斐大和施設の指定管理者の指定について	P.15																		
	人事案	議案第97号	人権擁護委員の推薦について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	同意
		議案第98号	農業委員会委員の任命について																			
	議員発議案	発議案第2号	甲州市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	P. 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
		発議案第3号	バレスチナ・ガザ地区における即時かつ恒久的な停戦を求め、日本政府に対して和平実現に向けて働き掛けることを求める意見書の提出について																			

委員会構成を変更

12月定例会において、委員会の構成が変更となりました。（◎委員長、○副委員長）

【総務文教常任委員会】
◎髙野浩一　○飯島孝也
丸山国一　廣瀬明弘
高畑一幸　青柳好文
平塚　悟　相沢俊行
有賀公子

【厚生経済常任委員会】
◎荻原哲也　○中村勝彦
日向　正　岡部紀久雄
小林真理子　矢崎友規
小野公秀　佐藤浩美

【議会運営委員会】
◎平塚　悟　○廣瀬明弘
丸山国一　中村勝彦
青柳好文　髙野浩一
飯島孝也　小林真理子

【議会広報編集委員会】
◎小野公秀　○小林真理子
丸山国一　日向　正
岡部紀久雄　廣瀬明弘
青柳好文　相沢俊行
佐藤浩美

一般質問

12月定例会では、産業・教育・福祉など市政全般にわたり、12月7日・8日の2日間、一般質問が行われました。それぞれの内容を要約してお伝えします。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧いただくか、12月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。掲載・発行はいずれも3月上旬の予定です。

会議録検索システム

質問議員	質問内容	ページ
髙野　浩一（政和クラブ）	①農業振興 ②デジタル化の推進 ③スポーツ振興	6
有賀　公子（公明党）	①スマホアプリを活用した行政サービスの推進 ②高齢者等・移動支援 ③友好都市・姉妹都市 ④安心出来る市民生活	7
日向　正（みらい政友会）	①補助制度について ②公平な納税 ③東南アジアの友好都市 ④ぶどうの丘について ⑤リサイクルステーションの有価物について	8
飯島　孝也（市民ハーモニー）	①保育施設と放課後児童クラブ ②ふるさと納税と財政運営 ③市民との接点	9
佐藤　浩美（日本共産党）	①物価高騰対策 ②子育て世帯に対する包括的支援 ③会計年度任用職員の待遇改善	10
相沢　俊行（甲州希望の会）	①「およっちょい上棟式」での事故事案 ②経済活性化に向けた産業構造複線化への取り組み ③通学路街灯の重点的 LED 化促進	11
平塚　悟（みらい政友会）	①財政健全化への取り組み ②教育環境の充実 ③フードバンク事業 ④道路整備による利便性の向上	12
丸山　国一（フォーラム進夢）	①都市計画について ②観光立市について ③空き家対策 ④ふるさと納税について ⑤塩山高校について ⑥還元ポイントについて	13

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

問 地域おこし協力隊※アグリトレーニー制度の現状は

髙野浩一 議員

政和クラブ

地域おこし協力隊（総務省HP）

答 3名の隊員が研修活動中 自立へのサポートを行う

剪定作業を待つぶどう畑

問 地域おこし協力隊アグリトレーニー制度がスタートして1年間、隊員はどの様な作業を行いどの様な感想を持ったのか。

答 現在3名の隊員が支援機関である㈱あぐりフルーツの指導の下、果樹栽培の研修をしており、自らが育て上げた果樹の品質も非常に高く、収穫の喜びを感じている様子であった。

問 本事業の目的は、隊員の任期終了後、地域への定住、定着を図り地域農業の担い手になってもらうことであるのか。

答 そのとおりであり、地域づくりの新たな担い手として育成するとともに、地域に定着させることを目的にしている。

問 自立するには財務・販売・人材育成といった営農のノウハウの学びや、作業場・農機具・圃場が必要である。任期3年のうち1年が経過し、残り2年間でどの様に支援していくのか。

答 支援機関では隊員とともに耕作放棄地の再生などを行っており、農業者として自立する際にはこれらの農地の管理を任せることで自立へのサポートを行っていく計画である。農作業以外にも地域活動などは就農定着への助けとなるため、支援機関と連携し進めていきたい。また、国、県の補助事業などと併せて総合的なサポートを行っていく。

問 アグリトレーニー制度での採用は令和4年度は3名だが、令和5年度の状況と、6年度以降の考えは。

答 現在は協力隊インターン事業で1名が活動中。隊員募集は随時かけており、先頃も一般社団法人が主催した隊員の合同募集セミナーに参加した。各年度おおむね2名から3名の採用を目途にしている。

問 さらにマイナンバーカードの普及率を高めるための取り組みは。

答 開庁時間以外にも予約制で夜間・休日の申請受付等あらゆる年代や状況の方々に取得しやすい環境を整備している。

問 マイナンバーカードを活用した行政サービスのデジタル化は。

答 市民課窓口における「書かない窓口」のシステム導入に向け準備を進めている。

問 豊富な知識を持った外部の人材を活用したデジタル市役所への推進は。

答 国や県からの情報を的確につかみ、市が必要とする人材に対して適した制度の利用を検討し、デジタル技術により利便性の向上と事務の効率化につながる行政運営を目指す。

問 塩山体育館にミニバスのコートを2面分準備すべきと考えるがどうか。

答 専門業者からも意見を聞き、壁面取付けや天井からの吊り下げなど様々な角度から研究していく。

※ 果樹農業に特化した活動を行い、退任後は新規就農を目指す地域おこし協力隊

問 スマホアプリ還元キャンペーンに取り組む考えはあるか

有賀公子 議員

公明党

＃7119（市HP）

答 継続して様々な方策の研究に努める

問 行政の公式LINEに市民の方から道路の陥没やひび割れなどの箇所を写真と位置情報を添付して送信する行政アプリ「まちレポ」事業導入の考えはあるか。

答 市DX推進プロジェクトチームでは、市民からの施設等不具合の情報等の通報システム導入を研究テーマの一つとしている。情報伝達における利便性の向上や業務の効率化につながるよう、システム導入に向け前向きに検討していく。

問 PayPay等、スマホアプリの還元キャンペーンに取り組む考えはあるか。

答 これまで物価高騰で低迷している経済や市民の暮らしを応援する目的で地域応援商品券の交付事業を合計5回実施した。全ての市民への支援と電子決済に対応できない中小事業者も支援できる方策として商品券事業を選択した。今後も支援策の内容を検討する際には、継続して様々な方策の研究に努める。

問 ごみ分別アプリの活用について、これまでの市の取り組みと今後の取り組みを問う。

答 令和4年8月から「甲州市ごみ分別アプリ」を配信し、広報紙やチラシなどにアプリのQRコードを掲載し、各種イベント時にアプリの普及を進めてきた。11月末現在の登録者数は1306名で利用者が増加している。今後は、お知らせ機能を活用し、当課からの情報発信ツールとしてさらに活用を進めていく。

地域にふさわしい移動支援を

問 運転免許証自主返納者へ市民バスの回数券を配付しているが、バス停まで歩くことができず、回数券を利用できていない状況がある。大和地域のような山間地域における高齢者等・移動困難者への支援の取り組みが必要ではないか。

答 路線バスのような公共交通では、十分な移動サービスが提供されていない区域があること、バス停までも出向くことが困難な方などの移動支援は、高齢化の進む中で大きな課題である。まずは、地域の移動ニーズの把握に努め、県内外先進地事例等を情報収集し、関係機関、団体、地域公共交通会議にも提供・提案する中で、地域にふさわしい移動支援の形を研究していく。

自宅からバス停まで出向くことができない移動困難者への支援が望まれる

問 25年以上交流事業が行われている静岡県牧之原市と友好都市・姉妹都市としていく予定はあるか。

答 本市への誘客増及び観光交流の強化を図るために、前向きに検討する。

問 ＃7119救急安心センター事業の周知が重要と考えるがいかがか。

答 現在、市ホームページに掲載しているが、広報紙等でも周知をしていく。

日向　正 議員

みらい政友会

勝沼ぶどうの丘

問 ぶどうの丘施設をユニバーサルデザイン※に改造は

答 運営資金を見据えた計画を作成し進める

誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの導入が求められるぶどうの丘

問 買い物にも行かず、人にも会う機会が減少して引きこもりがちになっている市民に外出の機会を多くする対策として、運転免許証返納者に時限的にタクシー利用券を配布する補助事業はできないか。

答 運転免許証自主返納者に対しては、推し進めている市民バスの利用者増加を見据えた高齢者の外出支援としてバス等の回数券を差し上げている。時限的でのタクシー利用券の補助はできかねると考えている。

問 地元商店などにおいて、店内にカメラを設置することなどによる人件費の削減や防犯対策を強化することで業務効率化などが期待できる。地元経済の活性化のため、このような事業を行う個人商店に補助金の支給はできないか。

答 小規模企業者の事業の持続的発展を後押しし、地域の活性を図るため、小規模企業者持続化補助金制度を設けている。

問 SS（消毒用トラクター）などの登録がなされないまま軽自動車税を納めていない場合、今回の農業支援給付金は支給されないのか。

答 法に基づいて課税した市税等を滞納している方は支給対象としていないが、軽自動車税登録を行わず納税していない方が仮にいたとしても市税等を滞納している方とは状況が異なるため、支給対象外とする措置はとっていない。

問 東南アジアのどこかの国の都市と新しく友好都市になることはどうか。

答 農業や商業の分野においてマレーシア、ベトナム、台湾などに出向き、ブドウやワインの販売促進や宣伝に取り組んでおり、市の産物のセールスをまずは優先することとしている。

問 ぶどうの丘のブランドを生かしたスイーツの開発と販売の進捗は。

答 複数の事業者と実現に向け協議を行ってきており、シャインマスカットを使用し、商品化して販売を開始している。

問 ぶどうの丘の施設について、ユニバーサルデザインの視点で施設全体の改造を行うことができないか。

答 ユニバーサルデザインの導入については、運営資金を見据えた計画を作成し、優先順位をつけ進めていく。

問 リサイクルステーションの有価物の買取価格について問う。

答 市場価格の調査を行い、委託業者と協議の上、買取額を決定している。

問 有価物の買取価格に関連することだが、布類やミックス紙が0円なのはなぜか。

答 委託業者が買取業者に引き渡しするまでの製品化の経費負担が主な要因と考えられる。

※ 身体能力の違いや、年齢などに関わらず、すべての人が利用しやすいようにつくられたデザインのこと

飯島孝也 議員

市民ハーモニー

ふるさと納税（市HP）

問 ふるさと納税経常的経費への使途に問題はないか

答 政策課題解決も含まれており、市民の要望に応える事業に活用していく

問 保育所や子ども園などが、入所園児の確保のために、過当競争状態となっているという認識はあるのか。

答 公立保育所4園の入所率は35％と低いが、私立認定こども園の入所率は73％から100％である。入所園児の確保に対して過当競争状態にはないと認識している。

問 保育所における公設と民営の格差解消のために、公設民営施設の設置や補助金要綱の見直しなどで、保育施設の再編が必要とする提言について、当局の考え方を問う。

答 私立認定こども園を含めた民間施設の再編という考えよりも、まず公立保育所を段階的に減らしていくことが必要だと考えている。

問 放課後児童クラブと放課後子ども教室、いわゆるフォローアップ学習を一体的に実施し、放課後や長期休みの子どもの過ごし方の充実を図ることを進めるべきだが、見解を問う。

答 放課後児童クラブは小学校ごとに14カ所設置しており、保護者の仕事と子育ての両立支援と児童の健全育成を目的に運営している。放課後子ども教室は、基礎学力の定着と学習力の向上のため平成26年度から実施している。6会場のうち4会場は同一の建物内にあるため、連携した取り組みを行っているが、指導者の確保や会場確保の点から調整が必要であり、他市の事例などを含め調査研究をしていく。

問 ふるさと納税に財源を求める事業が多くなってきており、年々依存度が高まっている。経常的経費に使われていることも多いが、問題はないか。

答 経費区分が義務的経費や経常的経費となる事業の中にも、子ども医療費助成事業や学校給食費無償化事業など政策課題の解決に向けた事業も含まれている。行政需要が増大し、歳入が減少していく中で、本市の財政規模の維持のため必要である。

市長 決まりきった予算を目減りさせて、新しい予算を使うということは難しい。やはり、ふるさと納税の確保に力を入れながら、大きな事業に取り組んできているのが現実。市民からの要望も取り入れ必要な事業に充当し進めるべきであると考える。

果物の返礼品が人気で寄附額が増えているふるさと納税
市民福祉の向上や政策課題の解決などに活用される

問 市長が政策を立案するには、課長を連れて地域の方が集まっているところに行くだけではなく、もっと細かく、小さな所にも出かけて接点を持つことが大切だと思うがどうか。

答 ホームページや市長への手紙で様々なご意見をお聞きする体制を整えている。市長は各種イベントや各種会議に出席しており、幅広い意見交換ができていると承知している。

佐藤浩美 議員

日本共産党

ファミリーサポートセンター
（市HP）

問 物価高騰への対策は

答 支援に向けた計画策定に取り組んでいる

物価や光熱費等の高騰が続いており生活や事業活動に影響している

問 物価高騰による市民の状況をどう捉えているか。

答 物価高騰が市民生活や事業活動に影響している事は承知しており、国の交付金事業を速やかに取り組むことを考えている。

問 市民生活への支援策は。

答 低所得者世帯給付金の速やかな執行と市民、市内事業所への支援の計画策定に取り組んでいる。

問 市の出生数を問う。

答 10年前は１２８人、昨年は１９８人、昨年は１２８人である。

問 子ども減少の歯止めとして保育料完全無償化の考えは。

答 全年齢保育料無償化は調査検討を継続していく。

問 政府は、こども家庭庁を発足させ、市町村はこども家庭センターの設置を努力義務と位置づけているが、本市のこども家庭センター設置の目的は。

答 母子保健・児童福祉の両部門の連携・協働を深め、虐待への予防的対応や家庭に応じた支援の切れ目のない対応など相談支援体制の強化を図るため、両機能を組織として運営しより効率的・効果的に実施できるよう整える。

問 ファミリーサポートセンター、子育て支援センター、保育所などでの一時預かりの利用料無償化の考えは。

答 認定こども園には国の要綱に従い補助金を交付し、ファミリーサポートセンターの一時預かりでは利用者に対し料金の一部助成を行っている。受益者にも負担をいただく必要性を考え、無償化する予定はない。

問 地域で子育て世代を見守る家事サポーターの養成の考えは。

答 既にファミリーサポートセンターでは多様な目的で利用する一時預かりに対応しており、実施の考えはない。

問 市職員数と会計年度任用職員数の割合とそのうち女性の割合は。

答 本年４月１日現在、市職員数５７２人、うち会計年度任用職員数は２２８人で40％。女性の占める割合は82％である。

問 今年度、国の人事院勧告で会計年度任用職員の給与改定が望ましいとされたが本市も適用か。

答 会計年度任用職員には適用されない勤勉手当を除き適用になるよう本定例会に関係条例の改正案を提出。

問 人事院勧告では会計年度任用職員の令和６年度からの勤勉手当支給に言及しているが、本市の扱いは。

答 人事評価制度・県や近隣自治体の動向を注視し総合的に検討する。

問 会計年度任用職員が安心して働き続けられる雇用の継続の保障を求める。

答 任用期間は１会計年度であり、長期継続雇用を前提とした制度でないため困難である。

相沢俊行 議員

甲州希望の会

甲州市新行財政改革大綱
（市HP）

問 およっちょい上棟式での事故の補償は

答 イベント保険が適用される

問 次年度以降、上棟式を安全に実施するための具体的対策案を問う。

答 大変申し訳なく思っている。およっちょい祭り実行委員会総会で、本年度の課題、反省を踏まえ、安全管理に対して協議し、対策を講じ、再発防止に努める。

問 上棟式では、餅以外にお供え物を投げることは以前から行われていたのか。

答 過去にまいていたこともあったと聞いている。

問 被害者に対する陳謝は行ったのか。

答 実行委員会会長と実行委員長、塩山建設組合の代表がお詫びとお見舞いに行った。

問 市長が記者会見を行わなかったのはなぜか。

答 次回祭り開催までに再発防止策を講じることが可能と判断し行わなかった。

問 法的責任の主体は誰か。

答 祭りを主催する実行委員会自体である。

問 行為者の特定の可否にかかわらず保険は適用されるか。

答 イベント開催中の運営管理下での事故の補償についてはすべて適用される。随時、市の顧問弁護士と相談して対応している。

問 今回の件について市長の考えを問う。

答 **市長** けがを負われた方には改めてお見舞い申し上げる。今後絶対に起こらないよう一層の安全対策を講じる中で進めたい。

問 企業誘致や創業支援についてこれまでの取り組みの中身と進捗状況を問う。

答 「甲州市商店街空き店舗対策費補助金」「創業塾」の事業は継続している。第２次商工業振興計画を策定中であり、企業誘致の内容を検討している。

問 本市は、県の地域経済牽引事業の促進を図る重点促進区域や産業の立地促進を図る工場適地・農村産業法産業導入地区に指定されているか。

答 現在指定されていない。

問 企業誘致等への考えは。

答 **市長** 甲州市は果樹地帯であり用地交渉は難しいが、前向きに取り組んでいくつもりである。

問 直近４年間の財政健全化指標が、県内13市中ほぼ最下位であることの評価は。

答 令和４年度決算では、経常収支比率（※1）・実質公債費比率（※2）・将来負担比率（※3）の３指標すべてで改善した。引き続き改善に努めていく。

問 塩山高校北部の農地に工場誘致や本社移転等に挑戦する考えはないか。

答 本市は農業を基幹とした産業構造である。中小企業を含め市内産業が複合的に成長すべく研究に努める。

問 通学街路灯のＬＥＤ化の現状と必要性の評価は。

答 各行政区では進んでいるが市設置のものは進んでいない。本年度の全量調査終了後、計画的に進める。

問 塩高通りの街灯を増設する考えはないか。

答 安全が確保できない暗い場所があれば検討する。

４年振りに賑わいの戻ったおよっちょい祭り

※1　経常的な一般財源（地方税など）がどの程度経常的経費（人件費など）に充てられているかを示しており、財政構造の弾力性を示す指標
※2　市債などを含めた市の債務の返済状況からみた財政の「健全さ」を表す
※3　一般会計等が将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合のことで、将来負担すべき実質的な負債の程度を示す

平塚　悟 議員
みらい政友会

問 勝沼小学校体育館の雨漏り 優先的に修繕できないか

答 優先度を見極め対応する

途中から狭くなる勝沼健康福祉センターへ向かう市道

問 財政状況を示す指標は依然として高いが、財政健全化へ向け今後どのように取り組んでいくのか。

答 主要財政指標の状況は、改善している状況にある。しかし、県内他市との比較では、指標が高い状況は変わらないと考えており、行財政改革の手綱を緩めることなくさらなる推進を図っていく必要がある。

問 現状より低い年間10億円程度のふるさと納税寄附金をベースとした予算編成が健全財政への取り組みに必要と考えるがどうか。

答 予算編成では投入できる財源として前年度の基金からの繰入額までを目安としている。ふるさと支援基金の残高は増加しており、より効果的な施策への充当など検討する。

総合教育会議のあり方

問 勝沼小体育館の雨漏りは過去6年間放置されてきた。優先して応急的修繕、改修する考えはないか。

答 勝沼小体育館の屋根の状況は承知している。優先度を見極め対応する。

問 GIGAスクール用パソコンの更新が迫る中、いかに財源を確保する考えか。

答 国は端末更新に要する経費を計上した。適切な更新時期を見逃さず、庁内協議を進める。

問 総合教育会議という公の場で、市長と教育委員が率直に協議・調整することを、もっと増やしたほうがいいのではないか。

答 学校現場からの要望は※義務教育振興集会実行委員会から直接市長あてに提出されている。今後も情報共有する中で、重点事項について協議をしていきたい。

問 山梨市、笛吹市はフードバンク山梨への事業参画をしている。本市も同活動に連携し協力していくのか。

答 生活困窮世帯への自立支援には、多様な課題に総合的に対応する必要があり、同事業への参画については慎重に検討する。

問 勝沼においては、観光シーズンに柏尾交差点を起点に交通渋滞が発生している。渋滞解消に向けた県道整備は進捗しているのか。

答 9月に県が交通量調査等を実施した。市と県で協力し渋滞解消に努めていく。

問 国道411号から勝沼健康福祉センターへのアクセス道路（市道）は、道幅が途中から狭くなる。周辺の交通量を把握しているか。

答 利用者の増加に伴い、アクセス道路の利用状況も、コロナ禍前に戻りつつあると考えている。

問 市内唯一の健康福祉センターへのアクセス道路として、道幅の拡幅・整備を早急に行う考えはないか。

答 通学路点検においても改修要望があり、しっかりと検討をしていく。

※　小中学校ＰＴＡ連絡協議会、校長会、教頭会、教育委員会など教育関係者が一堂に会し義務教育について話しあう場である義務教育振興集会を運営する会のこと

丸山国一 議員
フォーラム進夢

問 塩山駅南口における都市計画道路街路整備の進捗は

答 県の公共事業評価で事業化決定を得られるよう推進

問 塩山駅南口都市計画道路街路整備の進捗状況は。

答 従前にないスピードのある進捗となっている。県と歩調を合わせて協力する。公共事業評価で事業化決定を得られるように推進。

問 立地適正化計画の策定の状況を問う。

答 令和6年度早々に第2期となる策定業務委託を発注、計画案を作り計画策定を目指していく。

問 滞在型観光をどのような施策で対応していくのか。

答 **市長**　大型の国際ホテルが来る中で、インバウンドを含めて年間30万人が来ると考えている。また、スイーツ工場、レストラン、宿泊施設建設の予定があるので観光はいい方向に進んでいくと考える。

問 空家等対策の推進に関する特別措置法が改正されたが、対応を問う。

答 規則の改正を行う。内容は、管理不全空き家の定義、所有者に対する措置や勧告の定義の追加、様式の整備である。

問 空き店舗、空き家バンクの対応を問う。

答 甲州市商店街空き店舗対策費補助金交付事業を実施しており、小売り・サービス業5件、医業1件、製造業3件、飲食業3件の新規事業者が出店した。また、チャレンジショップ事業で来年1月にワーキングスペース貸出業がオープン予定である。空き家バンク制度は17年を迎えており、13件の物件情報に対し75件の成約を得ている。本年度も4件の実績がある。

商店街空き店舗対策費補助金（市ＨＰ）

問 ふるさと納税の現状と粗悪な返礼品への対策は。

答 本年度は、11月末時点で件数16万4200件、金額23億9600万円で、昨年同時期に比べ129％増である。粗悪な返礼品については、農家や業者との密接な連携により返礼品の果実に対する苦情は県内トップクラスに少ない。適正な対応をとり、さらなるファン層の獲得と本市の魅力を発信できるように取り組む。

問 塩山高校の本年度の志願状況が県下で最低と厳しい状況であるが、存続への取り組みの考えは。

答 これまで以上に連携を深め、さらに特色のある学校づくりに協力していく。

問 市外の方も含めた世界農業遺産認定記念としてポイント還元などのキャンペーンを考えているのか。

答 世界農業遺産のアピールはかつぬまぶどうまつりの特別企画として、バスでめぐる世界農業遺産ツアー、果樹園風景を眺める熱気球搭乗体験を実施した。機会に応じたイベントや、体験企画で誘客につながる事業を検討していく。

市長　公平性を保った中で考えていく。

山梨中央銀行塩山支店の西隣に１月にオープンしたワーキングスペース

総務文教常任委員会

常任委員会レポート

動画で▶Check!

こども家庭センターを設置

総務文教常任委員会を12月14日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

令和６年度から子ども分野が独立し、こども家庭センターが設置される
組織再編で、よりきめ細やかな支援と連携が期待される

■行政組織条例の一部改正

問 今回の組織の再編についての内容を問う。

答 こども家庭センター設置に伴い、子ども分野を独立させ子育て支援課に、福祉分野を福祉総合支援課としている。

問 今まで福祉総合支援課にあった相談支援に関する分掌事務がなくなっているが、相談支援体制についてはどうか。

答 相談支援は当然あるべきことなので削除したから相談を受けないという意味合いではなく、福祉分野、子ども分野等それぞれ対応し連携を図る。

■市税条例等の一部改正

問 今後の税等の納付についての変更点を問う。

答 令和６年４月より金融機関が納付書取扱手数料を導入することとなり、請求は市にかかるため、これまでの督促料徴収を廃止する。

問 市には人事委員会に関するものは設置されていないので、人事院勧告等の内容に鑑み改正する。

■市税条例の一部改正

問 市税である軽自動車税の減免対象の変更と考えるが内容を問う。

答 対象者は身体障害者ばかりでなく精神障害者等も含まれる。

問 県に倣って市が主体的に判断し改正するということか。

軽自動車税の減免制度（市HP）

答 そのとおりである。減免の範囲を県税の自動車税と同一とするためである。

■生活安全条例の一部改正

問 犯罪被害者等支援金は県から支給されても甲州市からも支給されるのか。

答 県が支給した場合でも市は支給する。金額は遺族支援金30万円、重症病等支援金10万円など。市として独自に支給することとし、本市に住所を有する方への支給としている。

■国民健康保険税条例の一部改正

問 減額措置の内容を問う。

答 出産予定日の前月から出産の翌々月の４カ月間での減額である。

総務文教常任委員会
◎髙野浩一　○飯島孝也
丸山国一　廣瀬明弘
高畑一幸　青柳好文
平塚　悟　相沢俊行
有賀公子

なお、延滞金の徴収は継続する。

■職員給与条例及び会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 初任給を高卒で１万２０００円、大卒で１万１０００円の引き上げということであるが、国の人事院勧告に鑑みての改定なのか、市として民間との格差是正を考えてなのか。

厚生経済常任委員会

常任委員会レポート

動画で▶Check!

勝沼健康福祉センター
指定管理者は社会福祉協議会

厚生経済常任委員会を12月12日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■勝沼健康福祉センターの指定管理者の指定

問 前回まで非公募で、社会福祉協議会を指定していたが、今回公募となった。公募の仕方と応募状況は。

答 公募の方法は仕様書等を掲載し、ホームページで行った。応募は社会福祉協議会の１事業所であった。

問 社会福祉協議会は塩山に移転しているが、使用していた事務所スペースはどのように使われるのか。

答 センターを管理する職員が料金の回収などをするスペースと、社会福祉協議会の訪問介護事業、居宅介護事業、訪問看護事業の事務所部分として契約し使用している。

■大和デイサービスセンターの指定管理者の指定

問 １８０万円の指定管理料が必要な理由を問う。

答 エレベーターの点検や地域の方が会議で利用する部屋の管理などに必要な費用である。

■日川渓谷緑の村及びやまと天目山温泉資源活用施設の指定管理者の指定

問 天目山温泉資源活用施設は、令和４年度の調査で建物の非常照明がほぼ全器点灯しない状況と指摘されていたが、改善したのか。

答 非常照明と誘導灯は全て点く状態である。

問 日川渓谷緑の村のバンガローや研修室など老朽化した施設が朽ちたとしても原状回復は必要か。

答 研修室は休止しており協定書にはない。市が認めれば原状回復は行わなくても問題ない。運営上の必要に応じて改修、解体などを考える。

■道の駅甲斐大和施設の指定管理者の指定

問 甲州市の指定管理施設として販売する商品には制限があるのか。

答 設置目的を逸脱しない範囲で、指定管理者の裁量としている。

■ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部改正

問 条例改正の目的は。

答 国の配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が改正されることに伴う条例改正である。改正後は「接近禁止命令」と、該当者が一緒に暮らしていた住宅から退去することを命令する「退去等命令」となる。

勝沼健康福祉センター（市ＨＰ）

温泉のほかにトレーニングルームもある
勝沼健康福祉センター

■その他、質疑を行いました。主なテーマは次の通りです。

保育所での地域食材活用◎子ども食堂◎観光大使小林幸子さん◎さくらフェスタ◎チャレンジショップ◎新規オープンのホテル◎市内公園の整備状況など

厚生経済常任委員会
◎荻原哲也　○中村勝彦
日向　正　岡部紀久雄
小林真理子　矢崎友規
小野公秀　佐藤浩美

一般会計等予算審査特別委員会

予算審査特別委員会レポート

動画で▶Check!

ふるさと納税は順調の伸び

一般会計等予算審査特別委員会を11月28日、12月15日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

令和４年度、地域子育て支援センターあっぷっぷに導入されているＩＣＴ機器

●11月28日開催

■令和５年度一般会計補正予算（第６号）

問 ふるさと納税の現状は。

答 10月の１カ月で、昨年は件数３６７４件、金額７２７４万６０００円。今年は３８２０件、８３１９万８０００円で伸びている。

問 基金積立金７億円の内訳として、先行予約分はどの程度か。

答 景観形成分に１億４３００万円、果樹園交流推進分に４８９０万円、子ども健全育成分に１億６７５０万円、安心健康まちづくり分に２９５０万円、その他市長が認めるものに３億１１１０万円である。その内２億円が先行分である。

問 委託料４７９８万２００円と報償費２億円の内容を問う。

答 報償費は返礼品で、委託料はポータルサイトの運営など民間への業務委託で、昨年の実績と今年の伸びの状況で計上した。

アピアランスケア助成金（市ＨＰ）

●12月15日開催

■令和５年度一般会計補正予算（第７号）

問 借換債の緊急防災・減災事業債と合併特例債はどのような内容に充てたのか。

答 緊急防災・減災事業債は、防災行政無線デジタル化整備事業で、合併特例債の主なものは社会資本整備総合交付金事業、農業基盤整備事業、中央公民館リニューアル事業、学校給食センター建設事業である。

問 子育て支援対策事業費のＩＣＴ化推進事業補助金の内容は。

答 地域子育て支援拠点事業所が、連絡帳の電子化、オンラインによる会議や相談支援のため、タブレット端末等のＩＣＴ機器を整備して活用する。今回は、たんぽぽこども園のこすもす・こども館からの申し出があり、補助をする。

問 ※アピアランスケアの助成はありがたいが、助成の回数は。

答 県の補助事業に従った要綱の設定を検討している。県の要綱では、ウィッグについては１人当たり１回、乳房用の補正下着、人工乳房については左右１回ずつとなっている。

■令和５年度一般会計補正予算（第８号）

問 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金のスケジュールを問う。

答 予算成立後、委託契約、システム改修を行い、12月１日が基準日の対象者を確定し、通知発送の準備を行い遅くとも２月初旬に発送する。その後、速やかに支給する。

一般会計等
予算審査特別委員会
◎髙野浩一　○飯島孝也
丸山国一　廣瀬明弘
高畑一幸　青柳好文
平塚　悟　相沢俊行
有賀公子

※　外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアのこと

公営企業会計等予算審査特別委員会

予算審査特別委員会レポート

動画で▶Check!

１月から国民健康保険税の産前産後減免制度が始まる

公営企業会計等予算審査特別委員会を12月13日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■令和５年度診療所事業特別会計補正予算（第２号）

問 会計年度任用職員経費の対象となる人数は何人か。

答 ２名であるが、１名退職の意向があり、引継ぎのため１カ月分重ねて補正に加えている。

■令和５年度介護保険事業特別会計補正予算（第２号）

問 システム改修費の内容を問う。

答 来年度は介護報酬改定があり、それに対応するためのシステム改修であり国の補助率は２分の１である。

産前産後期間における国民健康保険税の減免（市ＨＰ）

■令和５年度下水道事業会計補正予算（第２号）

問 給与費明細書によると職員１名が育児休業とあるが、一方で超過勤務手当が増えているが人員配置は適当であるか。

答 男性の技術職員１名が12月に育児休業を取得している。代わりの技術職員が見つからず５名の職員に仕事を分散し対応している。

■令和５年度勝沼ぶどうの丘事業会計補正予算（第２号）

問 昨年の同時期には補正予算で上方修正があったが、今回は人件費のみで良いか。

答 本年度予算は令和４年度の実績に上方修正を多少加えた予算の構築をしており、不足はないと判断した。

■令和５年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）

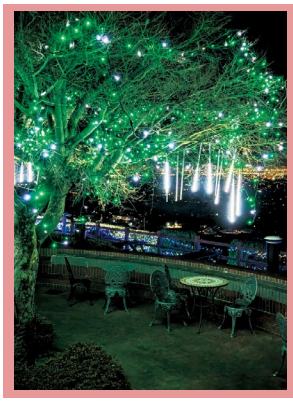
問 産前産後の保険料の減免額の根拠を問う。

答 本補正では試算上、令和５年10月31日までに出産育児一時金の直接払いの請求があった世帯の10名分を対象とみなしている。令和５年度の減免対象額は総額７カ月分のうち３カ月分で６万６１２５円である。

保険税の免除については母子手帳交付の際に案内をしている

公営企業会計等
予算審査特別委員会
◎荻原哲也　○中村勝彦
日向　正　岡部紀久雄
小林真理子　矢崎友規
小野公秀　佐藤浩美

表紙の写真

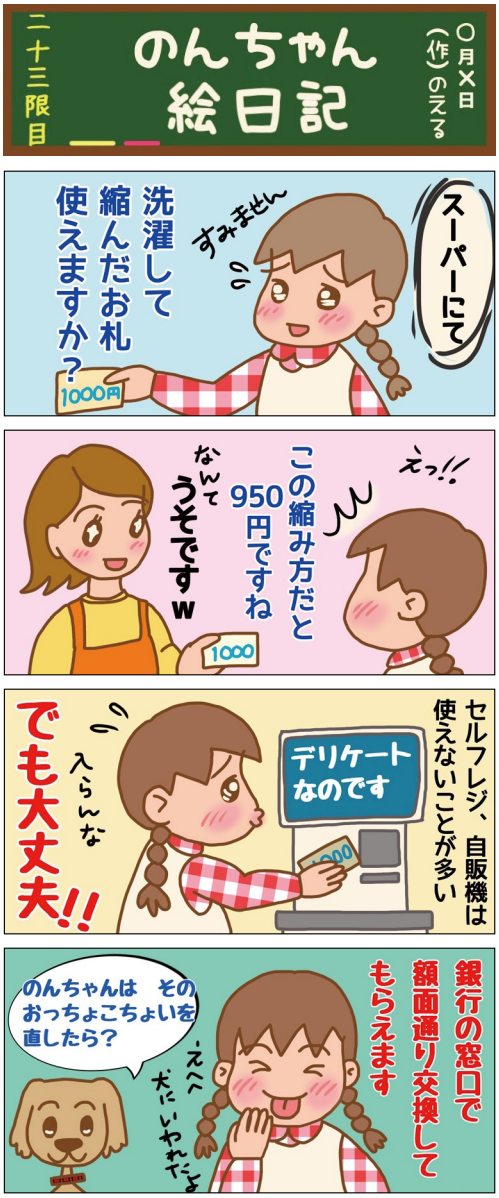


寒さが身に染みる冬の日、冷たい空気に包まれながらぶどうの丘での写真撮影に挑戦しました。空は澄み渡り、寒いながらも美しい景色が広がっていました。一歩足を踏み入れると、キラキラと輝くイルミネーションが目に飛び込み、寒さを忘れさせてくれ、冬の魔法を感じた瞬間を写真に収めることができました。

3月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
2/18	19	20	21 本会議（開会） 予算決算常任委員会	22	23	24
25	26	27	28	29	3/1	2
3	4 本会議（一般質問）	5 本会議（一般質問）	6 予備日	7 厚生経済常任委員会	8 総務文教常任委員会	9
10	11	12 予算決算常任委員会	13 予算決算常任委員会	14 予算決算常任委員会	15 予算決算常任委員会	16
17	18 予備日	19 予算決算常任委員会	20	21	22 本会議（閉会）	23

○午前10時開会です。（日程変更はホームページ等でご確認ください）
○市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひ議会議場・委員会室（市役所本庁舎 3階）へお越しください。



こちら編集室

■新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るい、いつ終息するか。また、ウクライナやガザでの紛争、物価高騰、少子高齢化、人々は不安な心となり、過剰な混乱や社会の分断を生み出しています。このような時代こそ相手の幸福を願い行動することです。人の苦しみを我が事とし共に生きる事です。今後は世界中で大きな変化があり、人と人との関わりがより希薄になるかもしれません。新しい社会、秩序、人と人、心が通いあう社会を作らないとコミュニティが崩壊します。自分の周り、地域でも皆一人では生きていけない状況になりつつあります。小正月の行事、どんど焼きのお小屋造りも若い人たちの減少により、取り止めが多くなり、寂しい限りです。でも、梅の花、福寿草は毎年咲く時期になります。（公）

■議会広報編集委員会

市議会議長	岡部紀久雄
編集委員長	小野　公秀
副委員長	小林真理子
委員	丸山　国一
委員	日向　正
委員	岡部紀久雄
委員	廣瀬　明弘
委員	青柳　好文
委員	相沢　俊行
委員	佐藤　浩美

輝く 甲州市民

阿部（あべ） 琉唯（るい）さん

塩山ハンドボールスポーツ少年団（女子）キャプテン

●第39回関東少年少女ハンドボール大会　準優勝

「優勝できず悔しい気持ちもあるけれど、決勝に行けたことやたくさんの経験をできたことは本当に良かったと思います。パスミスが多く修正に時間がかかったけど、うまくいかなくても最後までやり通すことが大事だと思っています。団旗にもある「心があきらめない限り夢は、叶う」の言葉を胸に、中学でもハンドボールを続け、良い成績を残したいです。コーチの指導や一緒にいる仲間たちに励まされてここまで頑張り続けることができたし、親が試合で応援してくれるのが本当に嬉しかったです。ありがとう。家族との絆が私の力になっています。」と語ってくれました。

甲州市議会広報 No.73
発　行　甲州市議会
発行責任者　甲州市議会議長
編　集　議会広報編集委員会
〒404-8501　山梨県甲州市塩山上於曽1085番地1
TEL.0553-32-2111 内線 3111　FAX.0553-32-3122
メール　gikaijimukyoku@city.koshu.lg.jp
甲州市ホームページで議会広報のバックナンバーが読めます。
この印刷物は再生紙を使用しています。